

○ さかなのとれ高と漁ぎょうではたらく人のかず

◎ 魚のとれ高や漁ぎょうではたらく人のかずをしらべましょう。

原釜漁ぎょうのおばさんのはなし

むかしとくらべても組合くみあいには  
 いている人のかずはかわって  
 いません。でも、じっさいに漁  
 に出ている人は少すくしずつへって  
 きていますし、お年としよりも多おほ  
 いので、あと5、6年ねんもすると、だ  
 いぶへってしまかいうんじ  
 ないですか。魚や貝はとりすぎると  
 いなくなってしまうので今はと  
 りりょうをきめて漁をしていま  
 す。



漁ぎょうのおば  
 さんに、こんなお  
 はなしをきいたわ。



はたらく人の数

魚のとれ高

671人		昭和60		13811トン
646人		昭和62		9926トン
635人		昭和63		10015トン
628人		平成元		9737トン
608人		平成2		7851トン
597人		平成3		7760トン
574人		平成4		7715トン

は100人

は1000トン

「魚ぎょしょう」をつくるためのブロックの  
 写真しゃしんです。このようなブロックを海にしず  
 めて魚の家いえにするのだそうです。

今いま、相馬まもでも、このような魚しょうをつ  
 くったり、魚や貝をそだてたり、海の生き  
 ものを守りながら、「つくり・そだてる漁ぎょう」がさかんになっ  
 ってきています。

